

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわりくらぶ呉中通				公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		人数や特性に応じて職員配置を行い安全面に配慮した支援を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		イラスト等を使い子供に分かりやすいよう工夫している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		出勤時、帰宅時の際にトイレや部屋の掃除を行っている。	靴を履いていい場所と悪い場所の区別をはっきりさせていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		必要に応じてクールダウンスペース等を設け、個別に落ち着ける環境作りをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々の振り返りやミーティングを通して課題を共有し支援の改善に繋げている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング等で職員間で共有し改善して言う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員間での意見交換を定期的に行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	毎月、研修を開催している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月の予定表を作成し、保護者の方に配っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		個々の子どもの特性やニーズを把握し保護者と情報共有しながら支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童の様子を職員同士が話し合い検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員間で共有し計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の様子を観察、記録し必要に応じて支援方法の見直しを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		子どもの発達段階や特性に応じて生活動作練習など具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間での定期的な話し合いを行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節ごとのイベントやその時の流行を取り入れ、活動が固定化しないよう工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		段階的な支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		その日に行われる活動内容を共有し、役割を決めそれぞれ支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	気づいたこと、その日のうちに共有しておくことは随時連絡を取り合い共有している。	その日に共有ができるように話し合いの場を作っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を残し改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、必要な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		日々の活動等の中で選択肢を与え、自ら選べる環境を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		代表の者が会議に入っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	地域の保健、医療は必要に応じて行い、障害福祉関係とは連携を行う体勢がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時や電話伝達で学校と情報共有できている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		代表の者が相談支援員の方と情報共有を行っている。	相談支援の方だけでなくそれまでに通っていた場所とも情報共有していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		引き継ぎ書を作成し移行する事業所に渡したり支援内容の情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	外出レク等で公園などで活動した際、地域の子どもと一緒に遊ぶ機会がある。	地域や他の子どもと活動する機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	ひまわりくらぶ代表者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時にお話しし保護者の方の思い等を聞き共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		書類を用いて同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時必要に応じて、保護者の方と話をしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった場合迅速に対応している。	保護者の方全体に周知できていないこともある為、その都度伝えていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報がかかっているものや書類は施錠保管し事業所からの持ち出しを禁止している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚支援、聴覚支援などを用いて児童に合った伝達方法を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		行事を開催していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		訓練日を設定し、訓練を行っている。	保護者の方に周知できていないこともある為周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		入所時に保護者の方とお話しし児童の状況を確認している。薬を預かり保管するなど対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		表を作成し職員間で共有し見入る場所に提示し対応できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		点検を定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		定期的に職員での意見交換を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		ミーティングの議題に出し、適切な対応を行えるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		入所時に危険性がある場合、怪我の恐れがある場合等について保護者の方にお話している。		